

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第2部門第6区分
 【発行日】平成19年11月22日(2007.11.22)

【公表番号】特表2007-509821(P2007-509821A)
 【公表日】平成19年4月19日(2007.4.19)
 【年通号数】公開・登録公報2007-015
 【出願番号】特願2006-536041(P2006-536041)
 【国際特許分類】

B 6 5 D 81/32 (2006.01)
A 6 1 C 19/06 (2006.01)
B 6 5 D 83/00 (2006.01)
A 6 1 J 1/10 (2006.01)
A 6 1 J 3/00 (2006.01)
A 6 1 M 35/00 (2006.01)

【F I】

B 6 5 D	81/32	D
A 6 1 C	19/06	Z
B 6 5 D	83/00	G
A 6 1 J	1/00	3 3 5 C
A 6 1 J	3/00	3 1 4 Z
A 6 1 M	35/00	Z

【手続補正書】

【提出日】平成19年10月5日(2007.10.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

流動性物質を貯蔵および分配するためのデバイスであって、
 容器の周囲に沿って互いに密封接合されているベース部材とカバー部材、
 前記物質を受容するための少なくとも1つの区画、および
 前記物質を前記少なくとも1つの区画から移し入れることができる開放型のポケット
 領域

を備える容器、並びに、

前記物質を分配するため、前記ポケットと流体連通する内部通路を有するカニューレ、
 を備え、該カニューレが、第1の端部と第2の端部を有する別々の構成要素であり、前記
 第1の端部が前記ポケット領域の開放端の中に挿入されるように適合されているデバイス

。

【請求項2】

前記第1の端部が、断面の増大した部分を有する延長部分を備える、請求項1に記載の
 デバイス。

【請求項3】

前記延長部分が、ベース部材とカバー部材の間の平面に先鋭な縁部を備える断面形状を
 有する、請求項2に記載のデバイス。

【請求項4】

前記ベース部材シートが、ポリプロピレン層、アルミニウム層、およびポリエチレン層

で形成されている深絞りされたシートである、請求項 1 に記載のデバイス。

【請求項 5】

前記カバー部材が、ポリエチレンテレフタレート層、アルミニウム層、およびポリエチレン層によってシートとして形成されている、請求項 1 に記載のデバイス。

【請求項 6】

前記区画を前記ポケットから分離させる部分を更に備え、前記区画を前記ポケットと連通させるように配置するため、前記分離させる部分が、前記通路領域にかかる有効な圧力によって選択的に開放されるように構成されている通路領域を備える、請求項 1 ~ 5 のいずれか 1 項に記載のデバイス。

【請求項 7】

異なる物質を保持するための 2 つ以上の区画、および、混合された最終物質を分配する前に前記区画を互いに連通させるように配置するため、選択的に開放されるように構成されている通路領域を備える、請求項 1 ~ 6 のいずれか 1 項に記載のデバイス。

【請求項 8】

前記容器が予め充填されている、請求項 1 ~ 7 のいずれか 1 項に記載のデバイス。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】削除

【補正の内容】